

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		生活支援体制整備事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	010602000988
総合計画の施策名		O106 高齢者福祉の推進					単独/補助	補助	所属課	040501 高齢福祉課
政策体系	政策名	O1	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
	施策名	O6	高齢者福祉の推進						グループ	地域包括支援グループ
	手段名	O2	②高齢者福祉サービスの充実						担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計			
	06	05	04	06	01	00	生活支援体制整備事業			
法令根拠	介護保険法、桜川市生活支援体制整備事業実施要綱						単年度繰返し (平成30年度～)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>本事業は、地域包括ケアシステム構築の一環として、住民同士が地域の情報を共有し、課題に気づき、課題解決に向けて主体的に行動するための話し合いの場として、協議体を発足させ、多様化する高齢者のニーズに対応した支え手・担い手による生活支援サービスの体制を構築するとともに、地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とした事業である。</p> <p>協議体は、市を単位とする第1層協議体と岩瀬・大和・真壁の生活圏域を単位とする第2層協議体からなり、民生委員・社会福祉協議会・ボランティア団体・介護サービス事業所・社会福祉法人・協同組合・NPO法人・地縁組織等の多様な参加者により構成される。</p> <p>令和元年度より第2層協議体の運営を桜川市社会福祉協議会に委託している。</p>	<p>①第2層運営業務委託契約</p> <p>②第2層受託業者の業務進捗管理</p> <p>③第2層協議体の話し合い及び支え合い活動への参加</p> <p>④第1層協議体の設置・運営</p> <p>⑤第1層生活支援コーディネーターの配置</p> <p>⑥市民勉強会の企画及び開催</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
関係機関との連絡調整 関係機関、関係課職員との勉強会の開催 生活支援コーディネーターの配置 協議体の設置 市民への周知	市民勉強会及び支え合い活動実施回数	回	63.00	66.00	69.00	72.00	75.00
	第2層協議体の設置数	箇所	5.00	5.00	6.00	6.00	6.00
	第2層協議体の話し合い開催回数	回	40.00	39.00	40.00	40.00	40.00
	第1層協議体の話し合い開催回数	回	1.00	4.00	1.00	1.00	1.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
高齢者 高齢者に多様なサービスを提供する社会資源	65歳以上の高齢者数	人	13,769.00	13,802.00	13,849.00	13,779.00	13,770.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
生活支援コーディネーターの配置 協議体の設置 生きがいを感している高齢者が増える。	生きがいを感している高齢者の割合	%	64.50	65.00	70.00	72.00	74.00
	地域の活動に参加したことがある市民の割合	%	56.30	55.80	60.00	62.00	64.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
県支出金	千円	1,170	1,206	1,250				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	1,398	1,440	1,492				
一般財源	千円	1,170	1,206	1,250				
事業費計 (A)	千円	6,078	6,262	6,491				
正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	60		07 報償費	40	
	10 需用費	43		10 需用費	138	
	12 委託料	6,159		11 役務費	6	
				12 委託料	6,307	
	合計	6,262		合計	6,491	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 第2層協議体による話し合い及び支え合い活動の実施 第2層協議体情報交換会の開催 第1層協議体話し合いの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 第2層協議体による話し合い及び支え合い活動の実施 第2層協議体情報交換会の開催 第1層協議体話し合いの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 第2層協議体による話し合い及び支え合い活動の実施 第2層協議体情報交換会の開催 第1層協議体話し合いの開催 市民勉強会の開催

事務事業名	生活支援体制整備事業	事務事業No.	10602000988	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成27年度の介護保険制度の改正により、包括的支援事業の一つとして実施することが位置づけられた。 平成30年度から令和元年度にかけて、市民向けに勉強会及び研修会を開催した結果、参加した市民を中心に、徐々に地域の支え合い活動に対する意識の高まりが見られており、市民が定期的に話し合いを重ね、活動の実践段階へ移っている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 協議体に参加する市民からは、地域の課題解決に向けた取組を実践しようと積極的な意見が挙がっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の課題や不足しているサービスの把握、その解決に向けて活動することは高齢者福祉の推進につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域包括ケアシステムの構築は国の施策である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 地域住民への事業の周知、市関係部署、関係機関と連携を取り事業の必要性を訴えていくことで成果の向上につながる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止することで地域包括ケアシステム構築の遅れにつながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はなく、統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業に必要な費用は、必要最小経費で行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民のための支え合いや、不足するサービス等を話し合い、開発する事業であることより、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 地区単位の活動推進に向けた話し合い(第2層協議体：岩瀬3、大和1、真壁1)に参加する市民の企画により、地区の公民館を活用した「集いの場」づくりなどの支え合い活動を計回実践し、延 人が参加することができた。また、新たな活動として、大人から子どもまで参加できる多世代食堂が始まった。今後、更に地域支え合い活動の充実を図っていく。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 協議体による話し合いが円滑に進むよう、引き続き、生活支援コーディネーターが、各団体や関係機関と連携を図り、高齢者の集いや活躍の場の設置に向けた声掛けや調整を行う。																								
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続(現状維持) C：終了、廃止、休止 B：継続(改革改善を行う) D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------